

北興化学工業株式会社

2023年11月期 第3四半期
決算補足説明資料

2023年10月6日

東証スタンダード 証券コード4992

決算補足説明資料目次

I .2023年11月期 第3四半期決算 ハイライト	2
II .【参考資料】 2023年11月期 第3四半期決算 データ編	10

I 2023年11月期 第3四半期決算 ハイライト

< 1. 連結業績 >

(単位：百万円)

▶ 前年同期比増収・最終減益決算

- ◆売上高は、38,138百万円、前年同期比773百万円(2.1%)の増収となりました。
- ◆利益面では、営業利益は、4,838百万円、前年同期比182百万円(3.9%)の増加、経常利益は、5,579百万円、前年同期比154百万円(2.8%)の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、3,624百万円、前年同期比195百万円(5.1%)の減少となりました。

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年同期比	増減率
売上高	37,365	38,138	+773	+2.1%
売上原価	27,427	28,076	+650	+2.4%
売上総利(売上高比)	9,939 (26.6%)	10,062 (26.4%)	+123 (▲0.2P)	+1.2%
販売費及び一般管理費	5,283	5,224	▲59	▲1.1%
営業利益 (売上高比)	4,656 (12.5%)	4,838 (12.7%)	+182 (+0.2P)	+3.9%
営業外収支	770	741	▲29	▲3.7%
経常利益 (売上高比)	5,426 (14.5%)	5,579 (14.6%)	+154 (+0.1P)	+2.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比)	3,819 (10.2%)	3,624 (9.5%)	▲195 (▲0.7P)	▲5.1%



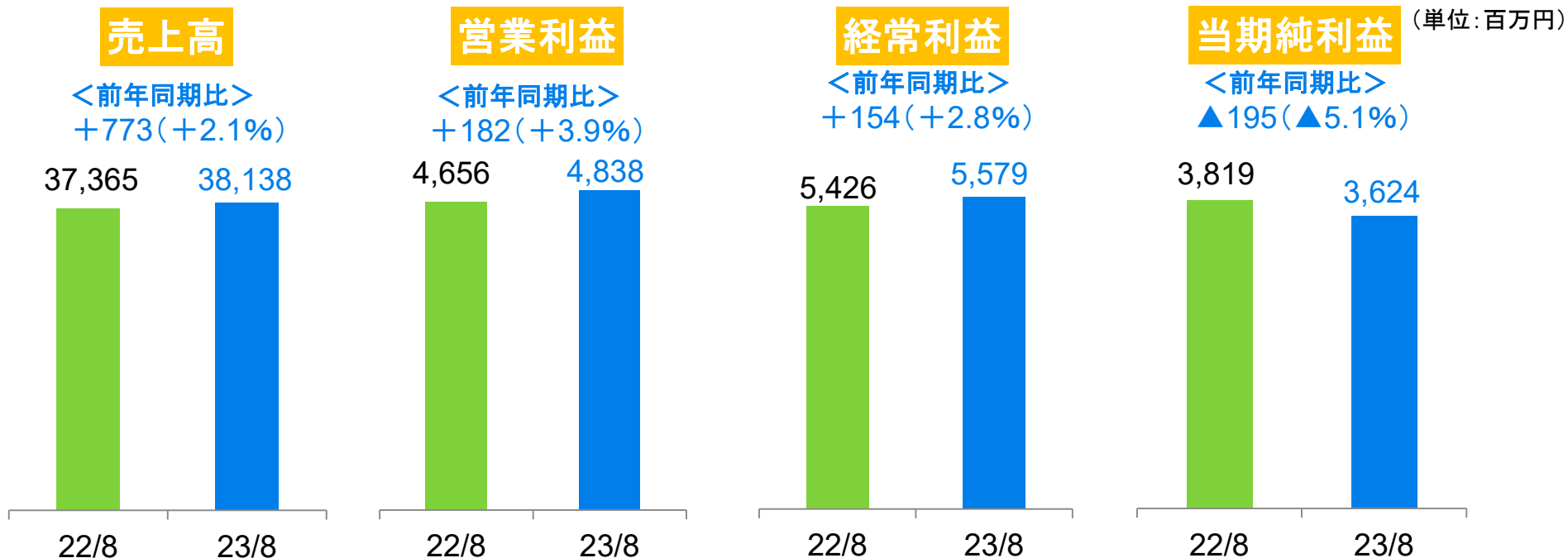
<1. 連結業績 ①概況>

➤ 売上高

- ◆農薬事業は、2023年度の農薬販売価格が値上げになったこと、海外販売(アジア向け)が順調に推移したことから**増収**
- ◆ファインケミカル事業は、医農薬分野や電子材料分野におけるフォトレジスト用原料等の販売が堅調に推移。一方、樹脂分野における石化用触媒等が海外経済減速等の影響を受けて需要が減少し、中国子会社における中国国内の販売も減少したことから**減収**
- ◆繊維資材事業は、環境配慮型の再生繊維素材の販売増加により**増収**

➤ 営業利益・経常利益・当期純利益

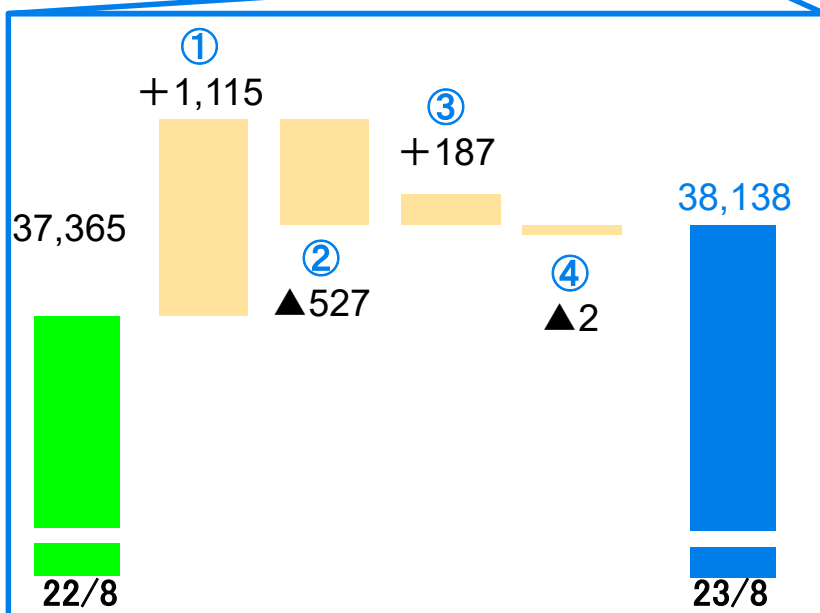
主に売上の増加により、営業利益は、4,838百万円、前年同期比182百万円(3.9%)の**増加**、経常利益は、為替差益が減少したものの、5,579百万円、前年同期比154百万円(2.8%)の**増加**、親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用の増加により、3,624百万円、前年同期比195百万円(5.1%)の**減少**



< 1. 連結業績 ②売上高 増減要因 >

(単位: 百万円)

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年同期比
① 農薬事業	22,461	23,576	+1,115
② ファインケミカル事業	13,743	13,216	▲527
③ 繊維資材事業	1,149	1,337	+187
④ その他	12	10	▲2
合計	37,365	38,138	+773



① 農薬事業 +1,115百万円

- ◆ 国内販売 +911百万円
- ◆ 海外輸出 +199百万円
- (以上、単体)

② ファインケミカル事業 ▲527百万円

- ◆ 樹脂分野 ▲283百万円
(石化用触媒 ▲278、その他樹脂原料 +59)
- ◆ 電子材料分野 ▲176百万円
(半導体関係 ▲320、フォトレジスト用原料 +118)
- ◆ 医農薬分野 +610百万円
(医薬: +61、農薬: +549)
- (以上、単体)
- ◆ 前期は、中国子会社の販売好調や価格改定が寄与したが、今期は、中国子会社における中国国内向け販売が大きく減少

③ 繊維資材事業 +187百万円

- ◆ 環境配慮型の再生繊維素材の販売増が牽引

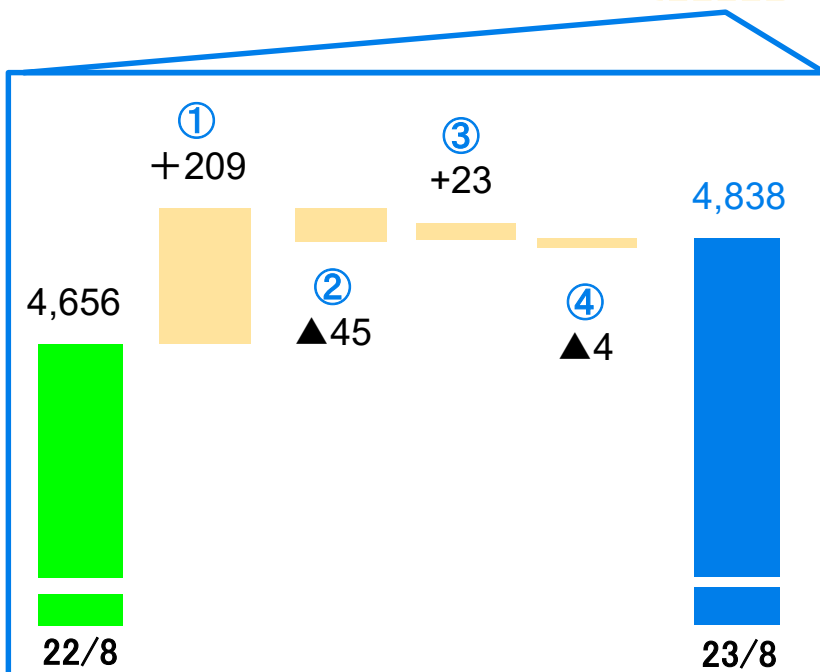
④ その他 ▲2百万円



< 1. 連結業績 ③営業利益 増減要因 >

(単位:百万円)

	2022年度 第3四半期	2023年度 第3四半期	前年同期比
① 農薬事業	1,056	1,265	+209
② ファインケミカル事業	3,562	3,516	▲45
③ 繊維資材事業	40	64	+23
④ その他	▲3	▲7	▲4
合計	4,656	4,838	+182



①農薬事業 +209百万円

原材料費の上昇や北海道新工場の減価償却費の増加があるものの、売上の増加により**増益**

②ファインケミカル事業 ▲45百万円

原価低減(中国子会社の原材料価格低下等)や物流費の減少等があったものの、売上の減少により**減益**

③繊維資材事業 +23百万円

売上の増加により**増益**

④その他 ▲4百万円

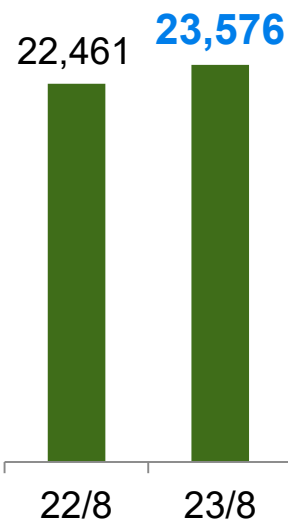


<2. 連結業績:セグメント別>

(単位:百万円)

売上高

【農薬事業】



<前年同期比>
+1,115
(+5.0%)

【ファインケミカル事業】



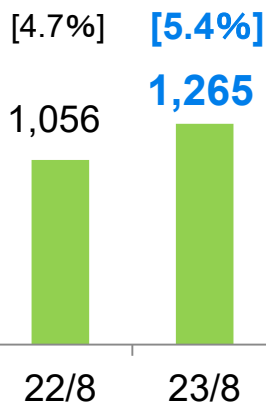
<前年同期比>
▲527
(▲3.8%)

【繊維資材事業】

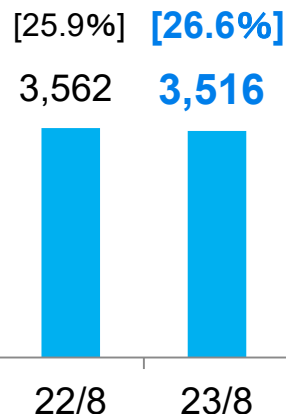


<前年同期比>
+187
(+16.3%)

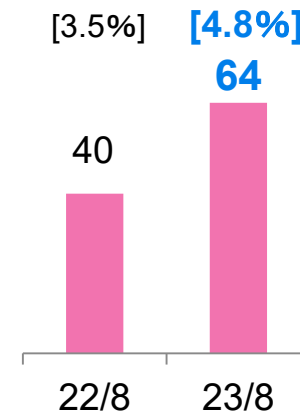
営業利益



<前年同期比>
+209
(+19.8%)



<前年同期比>
▲45
(▲1.3%)



<前年同期比>
+23
(+57.0%)

※営業利益額上方のカッコ内の%表示は、営業利益率



<2. 連結業績:セグメント別 ①農薬事業トピックス>

国内販売

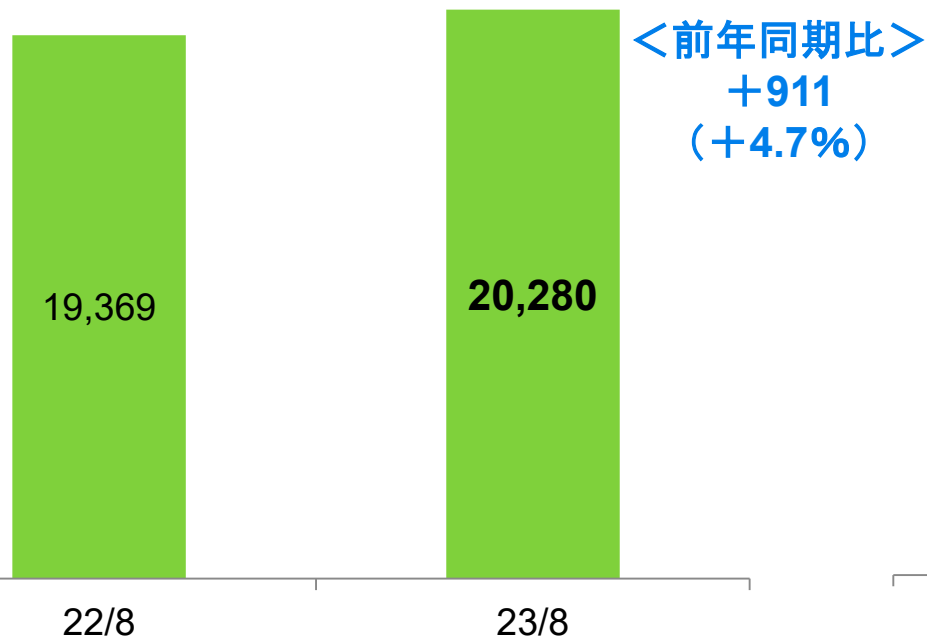
2023年度の農薬販売価格が値上げになったこと等により**増収**(水稻剤、園芸剤ともに除草剤が伸長)

海外輸出

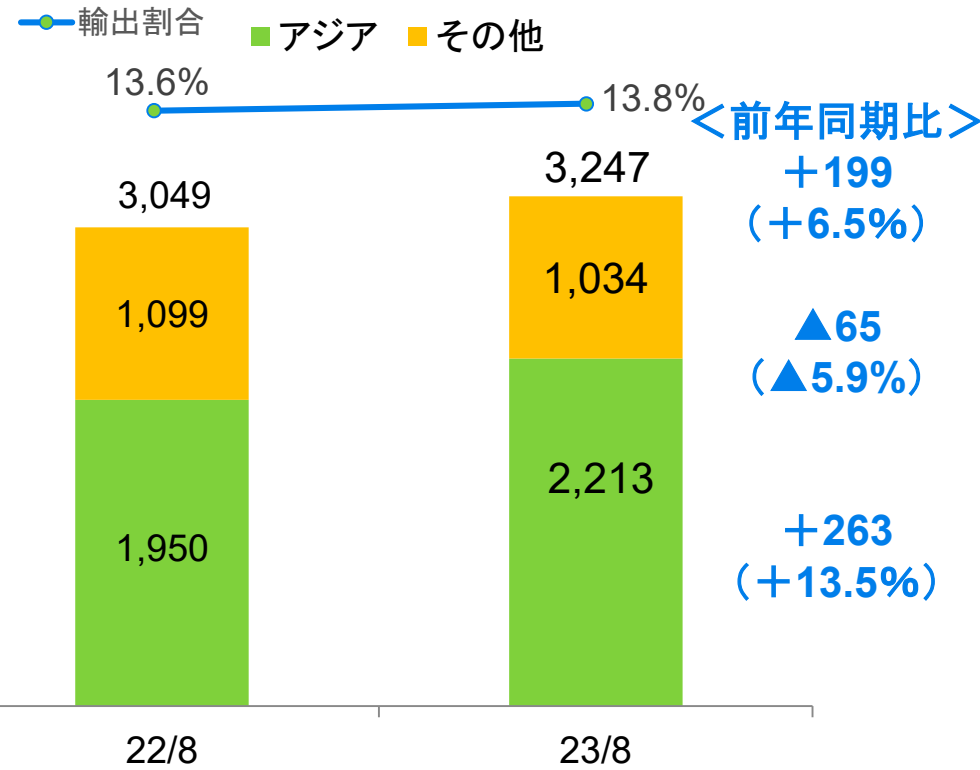
アジア(中国、インド等)向けの出荷が順調であったことに加え、前年同期比では円安効果もあり**増収**

国内販売(単体)

■ 国内販売



海外輸出(単体) (単位:百万円)



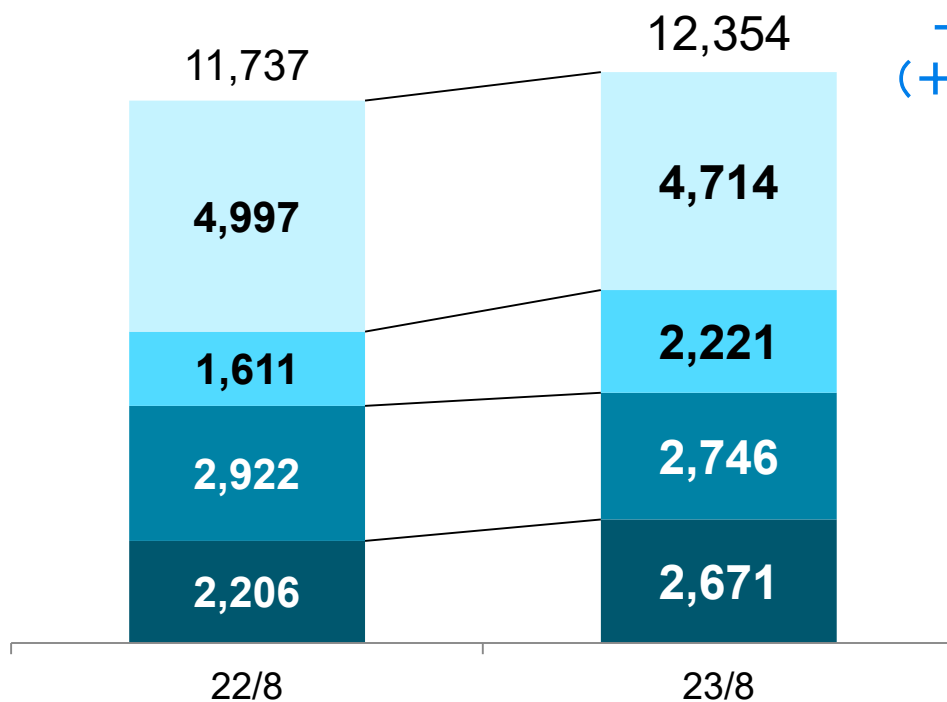
＜2. 連結業績:セグメント別 ②ファインケミカル事業トピックス＞

- 単体では、医農薬分野や電子材料分野におけるフォトレジスト用原料等の販売が堅調に推移し**増収**
- 一方、樹脂分野における石化用触媒や電子材料分野における半導体関係は海外経済の減速や在庫調整等の影響を受けて需要が減少
- 中国経済の減速等を受け、中国子会社における中国国内向け販売も減少したこと等から連結では**減収**。引き続き、海外経済・中国経済の減速や在庫調整等の影響を受ける見通し

分野別(単体)

(単位:百万円)

■樹脂 ■医農薬 ■電子材料 ■その他



＜前年同期比＞
+617
(+5.3%)

＜主な前年同期比増減内容＞

- ◆樹脂分野: ▲283百万円(▲5.7%)
 - ・石化用触媒: ▲278 (主にTPP)
 - ・その他樹脂原料: +59 (塗料、コーティング剤等)
- ◆医農薬分野: +610百万円 (+37.9%) (原料および中間体)
 - ・医薬: +61
 - ・農薬: +549
- ◆電子材料分野: ▲176百万円(▲6.0%)
 - ・半導体関係: ▲320 (半導体封止剤用の硬化促進剤: CPU、メモリー等)
 - ・フォトレジスト用のモノマー原料: +118
- ◆その他: +465百万円(+21.1%)
 - ・食品飼料: +125 (TPP: ビタミンA、ベータカロチン用途等)
 - ・防汚剤: ▲53
 - ・エネルギー: +283

*分野別 … 総売上高を当社の判断により各分野に分類しております。

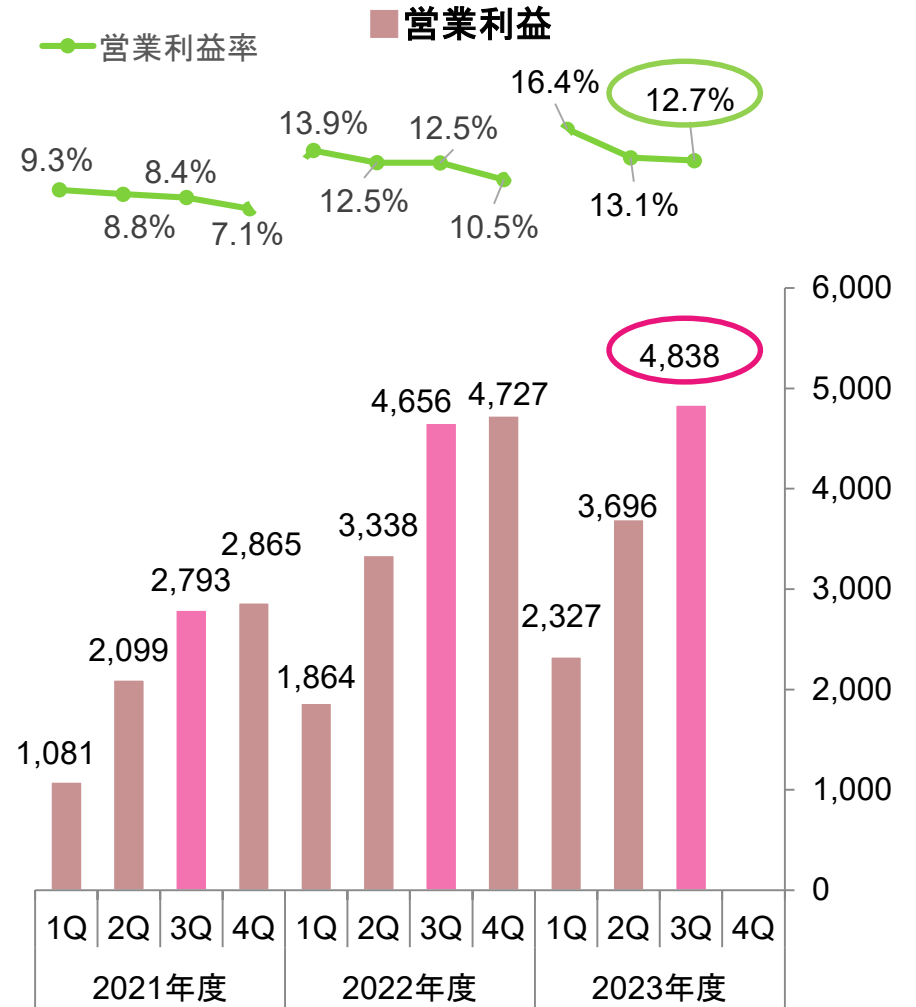
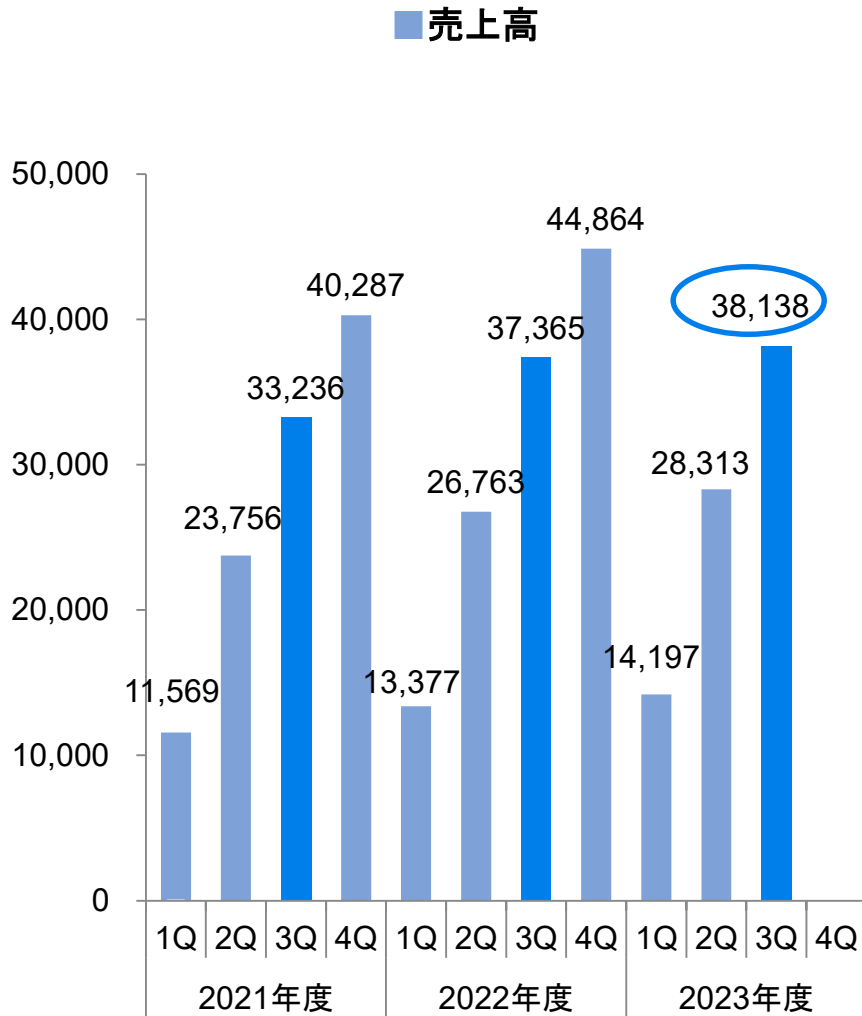


Ⅱ 【参考資料】

2023年11月期 第3四半期決算 データ編

＜①連結業績の進捗状況＞

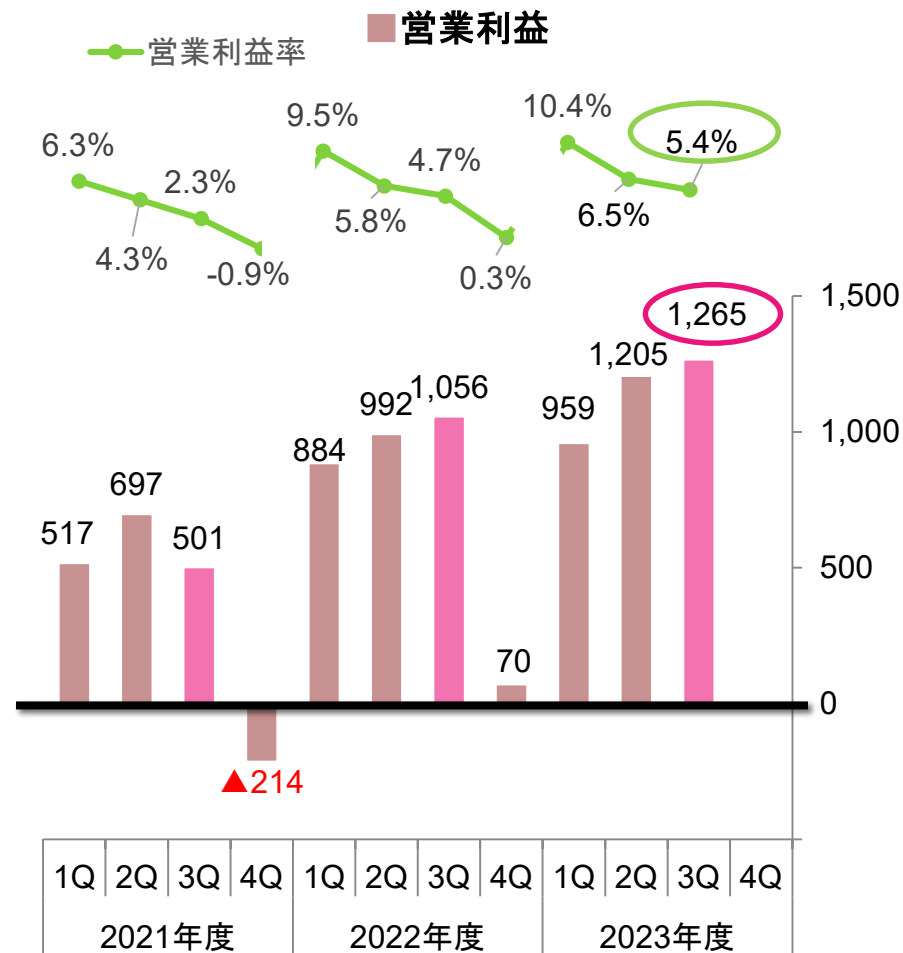
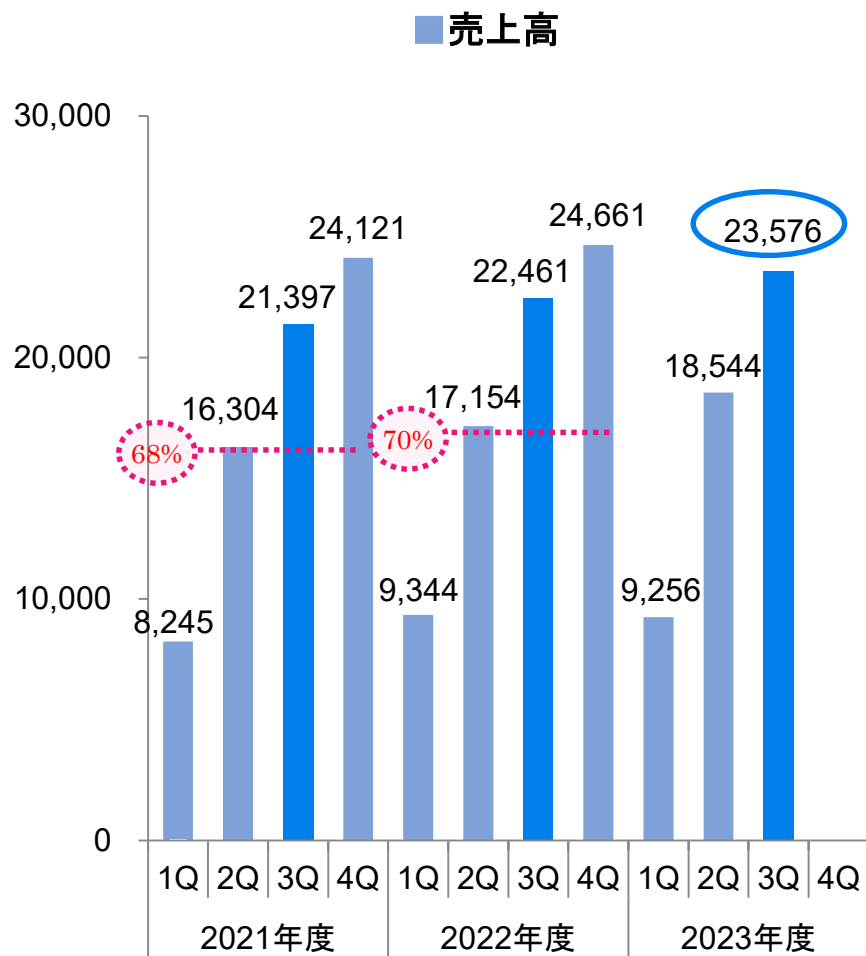
※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)



＜②連結セグメント別業績推移：農薬事業＞

※金額は各四半期時点における累計値
(単位：百万円)

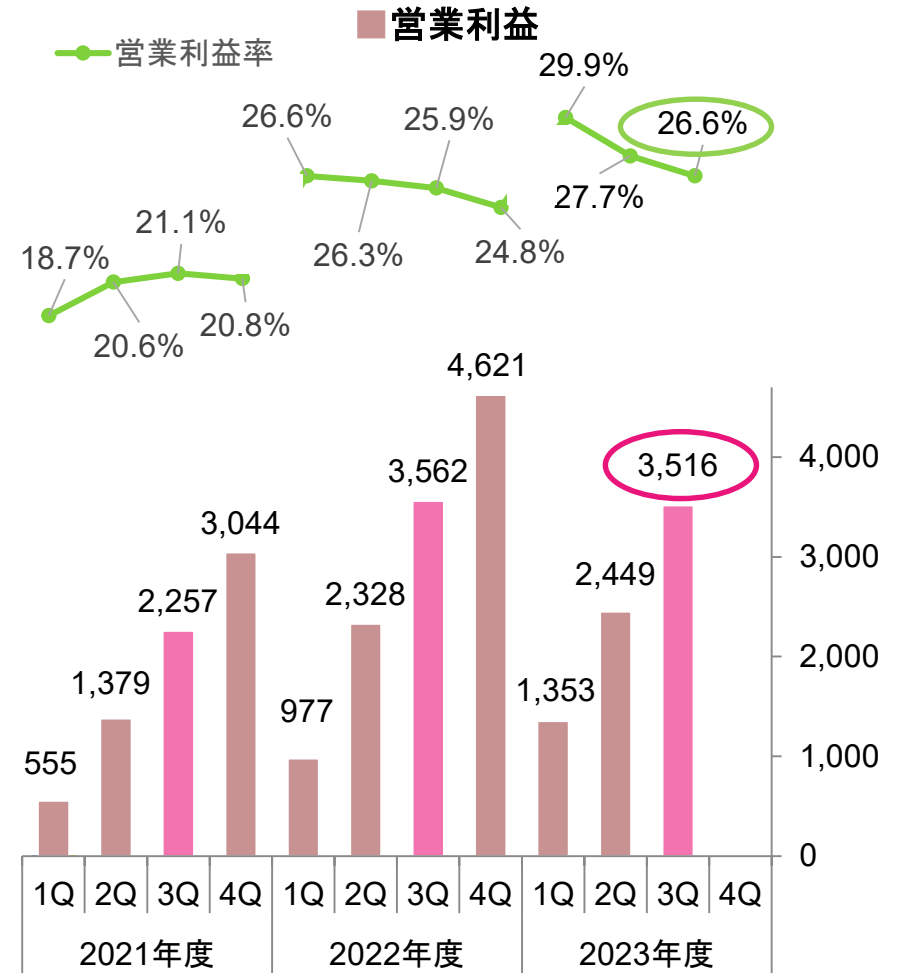
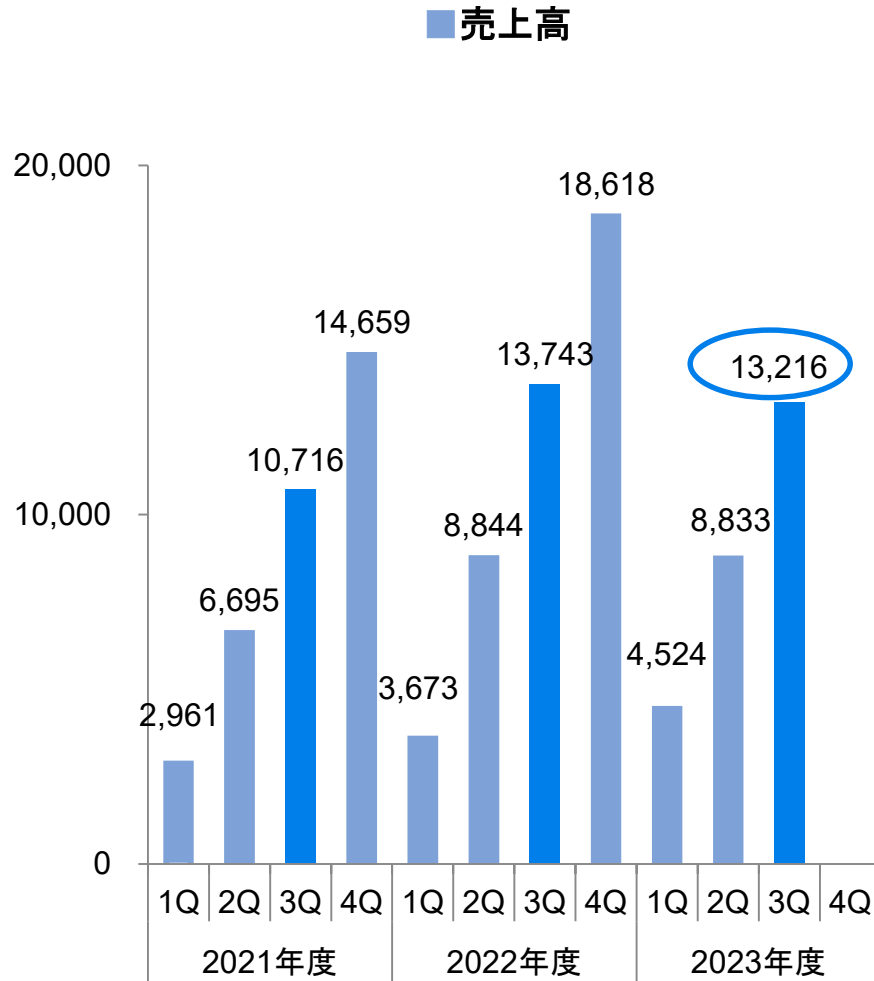
農薬の需要は季節性があるため、売上高・利益は上半期のウエイトが高くなる事業特性があります。



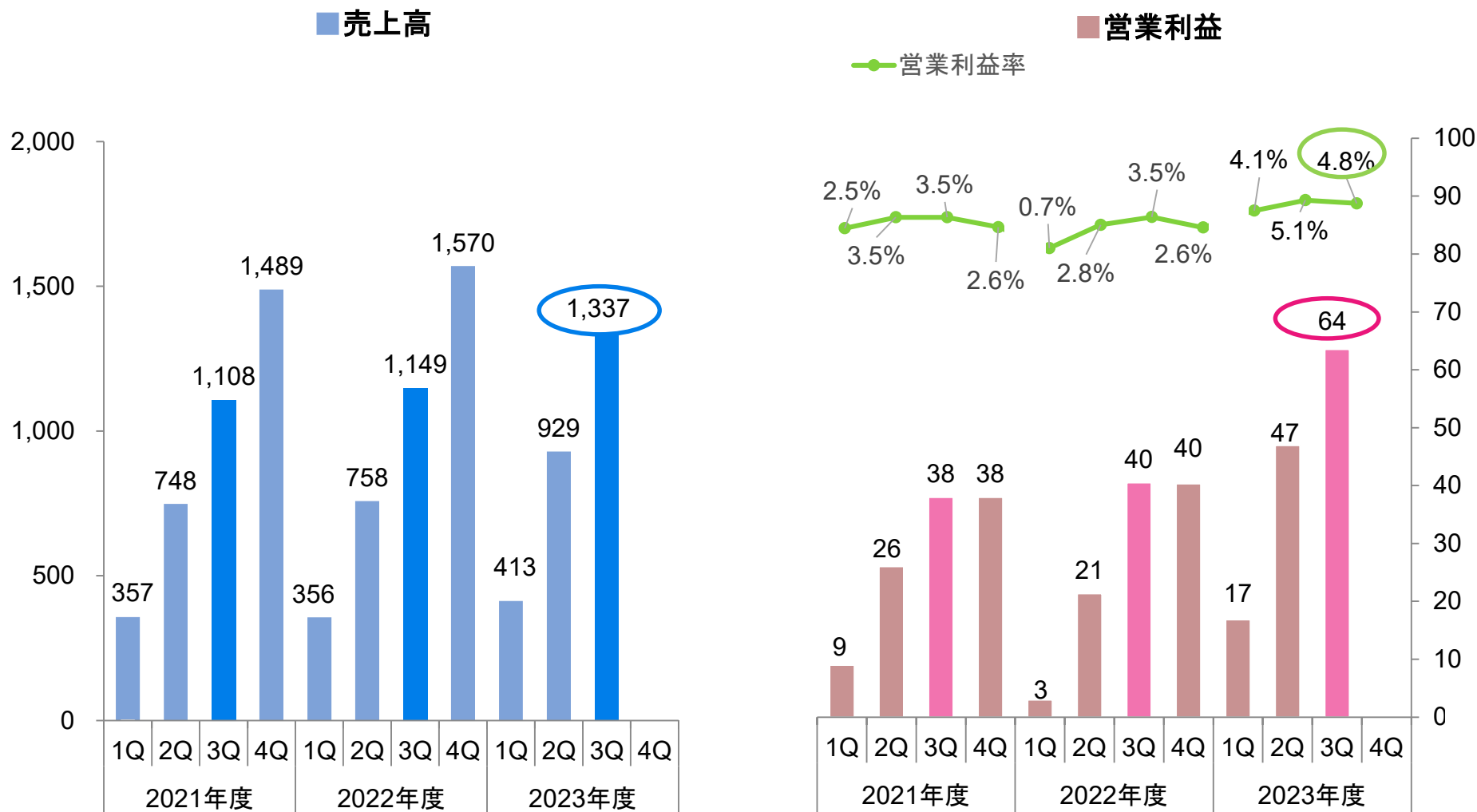
＜③連結セグメント別業績推移：ファインケミカル事業＞

※金額は各四半期時点における累計値

(単位：百万円)



＜④連結セグメント別業績推移：繊維資材事業＞ ※金額は各四半期時点における累計値
 (単位：百万円)



＜⑤連結セグメント別業績推移…四半期毎＞

- 【農薬事業】第3四半期(6～8月)は、天候の影響(台風、高温等)を受けた防除減等もあり販売が減少
- 【ファインケミカル事業】前年度の第3四半期(6～8月)は、中国子会社の販売好調や価格改定が寄与し好調に推移したが、今期は、樹脂分野における石化用触媒等の需要が減少したことに加えて、中国子会社における中国国内向け販売が減少

〔①2023年度〕

〔②2022年度〕

〔①－②前年同期比〕 (単位:百万円)

セグメント	項目	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計	1Q	2Q	3Q	3Q累計
農薬事業	売上高	9,256	9,288	5,032	23,576	9,344	7,810	5,307	22,461	▲88	+1,479	▲276	+1,115
	営業利益 (利益率)	959 (10.4%)	246 (2.7%)	60 (1.2%)	1,265 (5.4%)	884 (9.5%)	108 (1.4%)	65 (1.2%)	1,056 (4.7%)	+75 (+0.9P)	+138 (+1.3P)	▲5 (+0.0P)	+209 (0.7P)
ファインケミカル事業	売上高	4,524	4,309	4,383	13,216	3,673	5,171	4,899	13,743	+851	▲862	▲517	▲527
	営業利益 (利益率)	1,353 (29.9%)	1,096 (25.4%)	1,067 (24.3%)	3,516 (26.6%)	977 (26.6%)	1,351 (26.1%)	1,233 (25.2%)	3,562 (25.9%)	+376 (+3.3P)	▲255 (▲0.7P)	▲167 (▲0.8P)	▲45 (+0.7P)
繊維資材事業	売上高	413	516	407	1,337	356	402	391	1,149	+57	+114	+16	+187
	営業利益 (利益率)	17 (4.1%)	30 (5.8%)	17 (4.1%)	64 (4.8%)	3 (0.7%)	19 (4.7%)	19 (4.9%)	40 (3.5%)	+14 (+3.4P)	+11 (+1.2P)	▲2 (▲0.8P)	+23 (+1.2P)



＜⑥連結業績予想対比の進捗状況＞

＜進捗状況＞

業績予想に対する第3四半期の進捗率は、営業利益・経常利益は前年同期を上回る水準。
親会社株主に帰属する四半期純利益は税金費用の増加により前年同期を下回った。

〔2023年度〕

＜参考：前年同期＞

(単位：百万円)

	2023年度 第3四半期	2023年度 業績予想	進捗率		2022年度 第3四半期	2022年度 業績予想 (修正後)	進捗率
売上高	38,138	47,000	81.1%	売上高	37,365	44,500	84.0%
営業利益 (売上高比)	4,838 (12.7%)	4,600 (9.8%)	105.2%	営業利益 (売上高比)	4,656 (12.5%)	4,500 (10.1%)	103.5%
経常利益 (売上高比)	5,579 (14.6%)	5,300 (11.3%)	105.3%	経常利益 (売上高比)	5,426 (14.5%)	5,600 (12.6%)	96.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	3,624 (9.5%)	3,800 (8.1%)	95.4%	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上高比)	3,819 (10.2%)	3,900 (8.8%)	97.9%



本資料に記載されている業績予想・将来の見通しに関する記述等に関しましては、現時点で得られた情報に基づいて判断・算定したものであり、実際の業績は、今後のマクロ経済動向および市場環境、並びに当社グループに関連する業界動向、またその他内部・外部要因等、さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■ お問い合わせ先

北興化学工業株式会社

企画部 IR担当

電話：03-3279-5151

FAX：03-3279-5195

